

市長	副市長	教育長	教育次長	課長	館長	課長補佐	係長	記録

【所属名：教育委員会文化振興課（博物館）】
【会議名：糸魚川市博物館協議会 運営部会】

開示
一部開示 (理由:条例第 条第 号 該当)
不開示
時限不開示 (開示: 年 月 日)

会 議 録

作成日 平成 29 年 3 月 23 日

日	平成 29 年 3 月 15 日	時間	10:00 ~ 11:30	場所	フォッサマグナミュージアム 研修室
件名	議題(1) 平成 28 年度入館者の状況等について (公開) 議題(2) 平成 28 年度のショップ販売状況について (公開) 議題(3) 平成 28 年度の学芸業務 (教育・展示角洞) について (公開) 議題(4) 平成 29 年度の主な事業計画 (案) について (公開)				
出席者	【出席者】 5 人 運営部会 伊藤会長 池田委員 野本委員 渡辺委員 赤野委員 中村委員 【欠席者】 なし 【事務局】 博物館 宮島館長、竹之内館長補佐 (副参事・学芸係長)、小野係長、古平主査、茨木主査、 小河原主事				
	傍聴者定員		人	傍聴者数	人

会議要旨

1. 開会 (14:00)

【事務局】 館長あいさつ

【会長】 会長あいさつ

2. 議題

議題 (1) 平成 28 年度入館者状況について

【事務局】 平成 28 年度入館者状況について説明。

質疑

【委員】 12 月・1 月・2 月の団体客が多い原因は何が考えられるのか。昨年 12 月の糸魚川大火の影響はあるのか。

【事務局】 冬場の団体客の増加の原因は、温泉とフォッサマグナミュージアムの見学をセットにしたツアーが好評であることが要因として挙げられる。糸魚川大火の影響は、良い面でも悪い面でもないと考えている。

議題 (2) 平成 28 年度ショップ売り上げ状況について

【事務局】 平成 28 年度のショップ売り上げ状況について説明。

質疑

【委員】 個人の商店とは異なり、積極的な呼び込みやアピールができない中で健闘している。

【委員】 昨年 9 月にヒスイが国石に選定されたが、それからショップの売れ行きに変化は見られたか。

【事務局】 昨年 9 月以降は、ヒスイのストラップなどヒスイ製品の売れ行きが上向いた。高額なヒスイ商品も売れていたと感じた。

【事務局】 昨年 10 月の入館者数も、国石効果だけではないかもしれないが、対前年比 94.6%に留まった。

【委員】 ヒスイが国石となり、糸魚川市民のヒスイへの捉え方はどう変化したか。

【事務局】 ヒスイの国石選定後にフォーラムなど普及活動を実施している。これらを通じて、ヒスイが糸魚川で優れたものだけではなく、世界的に素晴らしいものであることを市民に理解してもらえたと思う。市外からも、国石について解説してほしいという依頼がある。

【委員】 今後も国石の話題はじわじわと広がってくるはずである。マスコミやインターネットでの問い合わせはあるか。

【事務局】 マスコミの取り上げ方はすごいものがある。国石の話題は、日本の三大新聞の一面を飾ることができた。これは画期的なことである。NHK などからも取材の問い合わせが入っている。今までは、ヒスイというと宝探しのような側面が強調されていたが、国石選定後は科学的・文化的な取り上げ方をしてもらっている。

【委員】 日本国内には、ヒスイが素晴らしいものだということが広がりつつある。今後は、糸魚川市民の意識にも期待したい。

議題 (3) 平成 28 年度学芸係業務について

【事務局】 平成 28 年度学芸係業務について説明。

質疑

【委員】 国石にヒスイが選定された効果はまだ期待出来る。焼山展の記念講演会には早川の人のどの程度来たのか。

【事務局】 焼山の大噴火現地見学会では、上早川から 15 名の参加者があった。

【事務局】 焼山が噴火した際の記録が早川の湯川内にあった。非常に貴重な資料であり、博物館として記録していきたい。

【委員】 活動の一覧を拝見して、非常に多くの行事があると感じた。学校関係の対応など毎日のように行事がある。国内で、これだけ多くの行事をこなしている博物館は少ない。県立博物館並みに対応していると感じた。これだけ多くの行事があると学芸系の維持が大変なのではないか。学校関係や博物館館内の案内を有料でジオパークガイドに任せることはできないのか。

【事務局】 現状では、学校関係の案内は全て学芸員が実施している。これは、学校関係の案内には科学的な知識がより必要になることが多く、スキルのガイドではなく学芸員が行って

いるためである。大規模な学校の案内では、補助としてガイドを要請することもある。博物館内の案内は、有志のガイドの方が土日に無料で実施している。これは、研修の一環としてガイドの会が実施しているものである。

【事務局】 博物館リニューアルの方針として、学芸員が博物館内部の案内を行わないことにした。ホールでの学芸員のレクチャーは有料で実施している。これは、リニューアル後の展示物には、音声が出るものが多く、学芸員が話をすると声が被ってしまうと言う現状もある。よって、特殊な例をのぞいては学芸員が館内を案内することはない。

【事務局】 冬に来館した団体客に対して学芸員がホールでレクチャーを行っているが好評である。博物館の多忙化については、冬季以外の休館日がないこと、博物館の人員が削減されていることも関係している。来年度も再雇用も含めて同じ 6 名体制で博物館を運営している。

【事務局】 当博物館では、教育普及活動に力を入れている。その関係で、研究活動や標本整理が進んでいないことも事実である。研究活動を行う場合は、超過勤務にならざる終えない実体がある。

【事務局】 お客様が多く来館することはうれしいが、残業は多くなっている。市役所内でも博物館は休暇取得数がワースト一位である。

【事務局】 竹之内補佐：仕事の内容と量は、ジオパーク活動を始める前と後では劇的に変化した。

【事務局】 宮島の来年度は再任用となり、勤務時間が 38 時間から 30 時間に削減されるため、学芸員の人数は実質減となる。

【委員】 学校の現状について説明願いたい。

【委員】 学校も現状としては多忙を極めている。博物館には学校行事でもお世話になっている。現実問題として、職員の勤務実態を改善するためには、人員を増やすか、定休日を設ける必要があるのではないか。このどちらかを考えていく必要があると感じる。

【委員】 博物館の点検では業者に朝 4 時をお願いすることもある。業者への対応もあり、休館日は必要であると感じる。

【事務局】 冬季は月曜休館であるが、団体客がある場合は開館している。

【事務局】 日曜日と月曜日は安く宿泊することができるため、団体客に人気である。従来の施設では、月曜休館が多かったが、来館客数を見ながら何曜日を定休日とすれば良いか熟慮する必要がある。

【委員】 糸魚川市はジオパーク活動を市の政策の柱にしている。市全体で、博物館をアピールすることが必要である。市役所職員に博物館の応援にきてもらうことを考えても良いのではないか。周りの人も支えていくことが大切である。

【事務局】 文化振興課からは、トップシーズンには応援いただいている。無休でオープンさせるのであれば、どのような体制が必要か考えていきたい。

【委員】 市全体として博物館を支えていく、配慮と啓発活動が必要である。学校は、一年間のカリキュラムを年度当初に組んでいる。校長会でジオパーク活動の集約などは行っているのか。

【委員】 校長会でジオパーク活動の集約などは実施していない。ジオパーク活動で博物館を利用する場合は、個別に学校が依頼している。学校教育では、郷土愛の醸成が重要視されている。今後ともフォッサマグナミュージアムと連携していきたい。

【委員】 ジオパーク学習は、一つのジオサイトに一回だけ行くのではなく、こどもの学年にあわせて何度も訪れることが大切である。こども一貫教育も改訂されている。ジオパーク学習をよりカリキュラムに取り入れていきたいが、地元出身の先生も減少傾向にある。博物館にぜひこ入れしてほしい。

【事務局】 今年度は、小学校の利用数が20校から8校と減少した。特に地元小学校の利用が減少している。この理由を考える必要がある。現場の先生が、ジオパーク学習をどう受け止めているのか検証する必要がある。また、学校での市のバスの利用に制限があるため、野外に出られないとの声も多い。

【委員】 地元出身者の学校管理職の割合は減少している。上越出身者など市外出身者はジオパークについて詳しくない現状がある。バスについては、ジオパーク学習を推進しているのに対して、バスの利用回数は減らされている。

【事務局】 バスの利用回数削減は、運転員のオーバーワークや白バス行為の禁止などの要因があり、回数を増やすことは困難である。市のバスの利用が難しいのであれば、代替手段を考えなければならない。

【事務局】 資料の表には、学芸員が対応していない学校はカウントされていない。

【事務局】 学校として利用するのであれば、学芸員が対応した方が学習効果が高い。博物館の利用方法について啓発していきたい。

【委員】 ジオパークの組織として、学校関係者と博物館関係者が意見交換する場はあるか。

【事務局】 竹之内補佐：組織的に意見交換する場はあまりない。校長会が大きな役割を果たしている。

【委員】 8月20日のまなそぼーよは200人、ヒスイ国石認定フォーラムは375人と多くの子どもが参加している。市内と市外の内訳はどの程度か。

【事務局】 まなそぼーよは市外の参加者が多い。

【委員】 国石認定フォーラムには多くの子どもが詰めかけていた。子どもは石を面白がっているのか。

【事務局】 石を面白いとってくれている子どもは多いと感じている。博物館の大きなイベントには参加者が多い。反面、小さなイベントでは子どもの参加者が少ないこともある。

【事務局】 糸魚川市の人口に対してイベントが多すぎると感じている。大量のイベントが互いを食い合っている。

【委員】 ジオパーク検定の参加者はどうか。

【事務局】 毎年、70-80名の小学生が受験している。香港に行くためには、ジオパーク検定の初級を取得している必要があるため需要がある。

【委員】 学校の教職員でジオパーク検定受験者はいるか。

【事務局】 今後調べるようにしたい。

議題 (4) 平成29年度の主な事業計画について

【事務局】 平成29年度の主な事業計画について説明。

質疑

【委員】 5月3日のクラシックカーのイベントに参加したが天気も良く、良いイベントだった。

【委員】 研究活動も学芸員業務の柱なので事業計画に入れるように希望する。

【事務局】 新年度の協議会の報告資料には入れたい。

【委員】 ぜひ記載するようにお願いしたい。

その他

なし

閉 会

【事務局】 館長あいさつ

【事務局】 業務係長あいさつ

(11 : 30 終了)

以上